



5.ジェンダー平等を実現しよう

「慶應義塾育児支援プログラム(KIDS) for Students」開始

2020年より提供している、研究・教育・診療に携わる教職員の仕事と子育てとの両立を支援する「慶應義塾育児支援プログラムKIDS (Keio Infant Daycare Support)」の対象を、2023年度から慶應義塾の学部および大学院で学ぶ塾生にも広げ、「慶應義塾育児支援プログラム(KIDS) for Students」を開始しました。慶應義塾大学の授業に出席する時間(通学時間含む)にベビーシッターサービスを利用した塾生に、一日当たり最大4,400円の補助金額を支給しています。

「大学におけるDiversity Equity and Inclusion (DEI) の課題

—多様な経験から学び、共通の目標を達成するために」国際シンポジウム開催

2023年6月12日、三田キャンパス北館ホールにて、協生環境推進室主催のシンポジウムを開催しました。理工学部 小原京子教授がモデレーターを務めたディスカッションでは、APWiL (Asia Pacific Women in Leadership) のメンタリング・プログラムに取り組む各国の大学の研究者と慶應義塾大学の女性研究者による活発な議論が交わされました。



メンタリング・プログラムを正式プログラムとして始動、塾生にも拡大

慶應義塾の女性教員のエンパワメントとリーダーシップの促進を目的に、2022年度にパイロット版として実施されたメンタリング・プログラムを、2023年度から正式なプログラムとして始動しました。2023年度は、18組のメンターとメンティーのペア合計36名の女性教員が参加し、一年間を通してリーダーシップやエンパワメント等、それぞれのテーマについて学び合いました。プログラムの一環として行われた中間報告会では、同時にワークショップを開催しました。第1回は、スポーツ心理学者のシステムデザイン・マネジメント研究科 田中ウルヴェ京特任准教授による、「心の整えかた」に関するストレスコーピングへの気づきと理解を深めるワークショップを実施しました。第2回は、体育研究所 板垣悦子教授による、ボディコンディショニングのワークショップとして、ピラティスの実技体験や呼吸法のレクチャーを受けました。

さらに、2023年10月からは、「慶應義塾大学 塾生メンタリング・プログラム」の第1期が開始しました。慶應義塾の半学半教の精神のもと、塾生(メンティー)と社会で活躍する塾員(メンター)が交流し、協生環境の学びを深め、視野を広げることで、卒業後のライフプランについて考える機会となることを目的としています。プログラムは1対1ではなく、様々な学部にも所属する学生と多彩な職場で活躍する塾員で構成されたグループごとに実施しています。



教員メンタリング・プログラム 修了式



塾生メンタリング・プログラム 中間報告会

慶應義塾大学工学部Girls Science Club 2023 開催

2023年8月22日、工学部のジェンダーアンバランスの解消を目的の一つとして、女子中高生とその保護者を対象に、化学実験体験と先輩女子学生やOGとの座談会、保護者と教職員の懇談会を開催しました。実際の環境で活動すること、学生と直接話をする中で、工学部での大学生活がどのようなものか知ってもらう機会となりました。



土屋常任理事

APRU Senior International Leaders' Meeting 参加

2023年9月24～25日、シドニー大学で開催されたAPRU Senior International Leaders' Meeting (SILM:国際担当上席者会議)において、土屋常任理事が"Equity, Diversity and Inclusion (DEI) Initiatives at Keio University"と題した発表を行いました。慶應義塾メンタリング・プログラム、世界女性デーにメルボルン大学と共催で実施した「インターセクショナリティ・ワークショップ」、大学におけるDEIについて情報共有や意見交換を行ったDEIシンポジウムなどの取り組みを紹介しました。



30% Club Japan 9大学トップ「多様性ある大学運営」のためのコミットメント発表

慶應義塾は、2010年にイギリスで創設された、役員に占める女性の割合の向上を目的とした世界的なキャンペーンである「30% Club」の取り組みに参加しています。2024年2月13日、伊藤塾長が、30% Club Japan 大学グループに加入している他大学のトップとともに、「多様性のある大学運営」の実現への道筋をつくることを目指し、具体的な目標を言語化したコミットメントを発表しました。

